

## 社会調査法

担当教員 佐藤 林正、安藤 学、徳永 淳也

配当年次 2年

開講時期 第1学期

単位区分 必修

授業形態 講義

単位数 2

準備事項

備考

## 【授業のねらい】

1. 社会調査の手法を学び、各種調査結果についての的確な解釈の仕方を習得する能力を身につける。
2. 実際の調査計画や実施の手法について学び、自ら調査ができる能力を習得する。
3. 調査票作成、統計的处理、報告書・論文の作成等、社会調査の具体的内容について学び、卒業研究論文作成に活用できるようにする。

## 【授業の展開計画】

| 週  | 授 業 の 内 容                 |          |
|----|---------------------------|----------|
| 1  | ガイダンス                     | 安藤・佐藤・徳永 |
| 2  | 社会福祉と社会調査(目的・役割・意義)       | 安藤       |
| 3  | 社会調査の歴史・社会科学としての社会調査      | 安藤       |
| 4  | 社会調査の計画と準備・倫理的配慮          | 安藤       |
| 5  | 質的調査の実践①                  | 安藤       |
| 6  | 質的調査の実践②                  | 安藤       |
| 7  | まとめと確認                    | 安藤       |
| 8  | 調査の設計 量的調査実施のプロセス         | 佐藤       |
| 9  | 調査の設計 調査票の質問項目の作り方        | 佐藤       |
| 10 | 調査の設計 調査票の配布と回収、調査法の比較    | 佐藤       |
| 11 | 調査結果の整理と分析(1) 度数分布と代表値    | 徳永       |
| 12 | 調査結果の整理と分析(2) 平均と標準偏差     | 徳永       |
| 13 | 調査結果の整理と分析(3) 相関、クロス集計、検定 | 徳永       |
| 14 | 調査結果の整理と分析(4) ITと集計ソフト    | 徳永       |
| 15 | 社会科学としての社会調査 調査報告書の作成     | 佐藤       |

## 【履修上の注意事項】

第1回目の授業で、各担当者から必要な事項についての説明があるので必ず出席すること。また、それぞれの担当内容に沿って事前学習及び履修後の事後学習を行って内容の理解を深めること。

## 【評価方法】

安藤が、佐藤、徳永がそれぞれ試験またはレポートを課する。総合的に三者が採点し、合計点で成績の評価を行う。

## 【テキスト】

教科書は使用しない。参考書については、別途、授業の中で適宜紹介する。  
資料は、必要に応じてその都度担当者が配布する。

## 【参考文献】

授業の中で指示する。